

木質居住空間の快適な音環境を目指して

我が国では、森林・林業の基本政策として森林・林業再生プランが策定され、公共建築物等木材利用促進法が施行されるなど、木材、とくに国産材を活用していこうとする気運が高まっています。そのような情勢の中で、木造建築物あるいは木質内装の非木造建築物の居住空間で発生する様々な音、とりわけ不快な影響を及ぼしやすい床衝撃音や残響音を制御して快適な音環境を実現することは、国産材の利用を促進する上で重要な課題です。今回の講演会では、スギなどの国産材を活かして、木質居住空間で生じた床衝撃音や残響音を制御することを目的として取り組んだ二つの研究を紹介します。続いて、床衝撃音の「うるささ」の評価に焦点を絞り、心理音響学に基づいた新たな評価方法に関する研究の概要を解説します。木造建築物あるいは木質内装の非木造建築物の居住空間の音響に関わる研究・技術開発・設計などに携わっておられる方など、本講演の内容に興味、関心をお持ちの方々の多数のご参加をお待ちしています。なお、本会は、一般社団法人日本木材学会居住性研究会、公益社団法人日本木材加工技術協会木質仕上げ部会との共催で開催されます。

共 催：日本生理人類学会 Wood/Human Relations 研究部会

（社）日本木材学会居住性研究会

（社）日本木材加工技術協会木質仕上げ部会

日 時：2013 年 3 月 29 日（金）13：00～15：00（予定）

会 場：岩手大学教育学部（第 63 回日本木材学会大会会場内第 3 会場（E22 室））

講 演 者：末吉修三（独立行政法人森林総合研究所）

参 加 費：1,000 円（資料集代として）

参加人数：先着 30 名様

申込締切：2013 年 3 月 22 日（金）までに下記連絡先にご連絡ください。

参加申込：参加を希望される方は、下記までお名前、ご所属、ご連絡先（電話番号、メールアドレス等）をご連絡ください。

小林大介（横浜国立大学教育人間科学部） kobadai@ynu.ac.jp

木村彰孝（長崎大学教育学部） akitaka-kimura@nagasaki-u.ac.jp